

自衛隊から学ぶ災害時のサバイバル術

10/11

町内在住の生徒らを対象に防災キャンプを開催

伝統文化伝承館「時愛」にて、義務教育学校の7年生から9年生と町内在住の高校生などを対象に、1泊2日で防災キャンプを開催しました。

講師には、災害発生時に町を支援してくれる「陸上自衛隊34普通科連隊第2中隊」の隊員22名を招き、災害時に備えたサバイバル術を学びました。

参加した11人は、ロープワークや飲み水の作り方、応急救護、テントの設営などを実践的に学び、実際に自分たちで立てたテントに宿泊しました。また、非常食の試食も行い、災害時の生活を体験しました。



陸上自衛隊員からロープワークを学ぶ

豊かな地域社会づくりに役立てる

10/21

明治安田生命保険相互会社から寄付金が贈呈されました



園田町長(左)と妹背静岡支社長(右)

明治安田生命保険相互会社から地域住民の健康増進等に資する寄付金の贈呈式が執り行われました。

本町は町民の健康増進や地域経済活性化を目的に、明治安田生命保険相互会社と令和3年から包括連携協定を締結しており、今年も昨年に引き続き寄付をいただきました。

贈呈式では、妹背俊紀静岡支社長から町長へ目録が手渡され「町民の皆さまの健康増進にお役立ていただきたい」とあいさつしました。町長は「寄付金は町民が健康で安心して暮らせる環境づくりに大切に活用させていただく」と感謝の意を述べました。

3年に1度のお茶の総合博覧会！

10/23

「世界お茶まつり2025 秋の祭典」で特別呈茶を実施

10月23日から26日にかけて、静岡市のグランシップで「世界お茶祭り2025 秋の祭典」が開催され、川根本町茶業振興協議会が出展し、今年の全国茶品評会の入賞茶等を呈茶しました。

会場では、入賞茶の生産者から直接話を聞きながら、こだわりの一杯を味わえる特別呈茶を実施し、ブースには4日間で合計約180名が来場しました。

来場者からは「香り高く繊細な味わいのお茶を楽しみながら生産者の思いや製法についても深く知ることができた」と好評をいただきました。



生産者自ら川根本茶のPRを行いました

川根茶を身边に

10/8

三ツ星学園・光の森学園の子どもたちへ川根茶を贈呈

川根本町共同製茶連絡協議会は、町内の義務教育学校2校へ、川根茶を贈呈しました。

今回贈呈した川根茶は、町内の共同製茶工場で製造された一番茶を仕上げ加工したものです。

近年、煎茶の消費が減少傾向にある中で、子どもたちが家庭で急須を使い、川根茶のおいしさを感じながら親しんでもらいたいという思いから、この取り組みを毎年続けています。

共同製茶連絡協議会の坂本政司会長は「地元の子どもたちにおいしい川根茶を身边に感じてもらいたい」と話しました。



坂本会長が各校長へ川根茶を手渡す

エコティ日記

地元住民のための町散策ツアーを開催しました！

10月19日(日)、「日帰りジモト旅 川根本町の果てまで行ってGO！」を開催しました。町内在住の未就学児から80代まで幅広い世代の16名が参加。

まずは長島ダムへ。ダムを下から眺め、その大きさを体感とともに、大井川やダムの役割についてお話ししました。その後、井川線に乗って奥大井湖上駅へ。道路から見たことはあっても、実際にレインボーブリッジを歩いて渡るのは初めてという人も多数で、上り道で苦労した分、展望スポットからの眺めは格別でした。

一番盛り上がったのが昼食後の「石の重さ当てゲーム」。自分の感覚を信じて300gの石を探してきます。これには大人も子どもも夢中に！300gピッタリが出たときには歓声が上がりました。

ツアーの途中にはクイズやミッションを用意しました。参加者は答えを探すため五感をフル稼働させていました。これを機会にもっともっと地元への関心や愛着が沸いたなら、大成功です！

クイズの一部を紹介しますので、ぜひ皆さんも考えてみてください！家族や友達を案内するときに、知っているとちょっと鼻高々なネタがいっぱいですよ。



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎ : 0547(58)7000
FAX : 0547(58)7001
Eメール : ecotkawane@gmail.com



QUIZの答え
C.900m、D.1648mm、E.1694mm、F.4.5km、G.5.1km、H.1648mm、I.1694mm、J.1648mm、K.5.1km、L.4.5km、M.1694mm、N.1648mm、O.5.1km、P.4.5km、Q.1694mm、R.1648mm、S.5.1km、T.4.5km、U.1648mm、V.1694mm、W.5.1km、X.4.5km、Y.1694mm、Z.1648mm